

令和元年度専門部会等の取組報告及び令和2年度の取組

専門部会名	児童教育支援部会
1 担当する「ながぶく障がい者プラン」の重点施策	⑤ 乳幼児期からの療育支援体制の整備 ⑥ 各保育園への巡回相談(長久手市保育所等巡回相談支援事業)
2 協議内容	1. 令和元年度児童教育支援部会について (1) 第1回 実施日時 令和元年7月9日(火) ア 作業部会(ささえる会・つなぐ会)報告 イ その他 (2) 第2回 実施日時 令和元年9月12日(木) ア 作業部会(ささえる会・つなぐ会)報告 イ 児童発達支援センターの整備について ウ その他 (3) 第3回 実施日時 令和2年1月31日(金) ア 作業部会(ささえる会・つなぐ会)報告 イ 次期障がい児福祉計画の進捗状況について ウ 重点施策の評価・今後の方向性について エ その他 「子どもを取り巻く問題解決に関する検討の場」の設置に伴うつなぐ会の休会について 2. 作業部会報告 (1) つなぐ会 ア 第1回 5月22日(水) 平成30年度つなぐ会で整理された課題の確認 (仮称)発達支援室の設置案及び役割について 児童発達支援センターで実施予定の事業について イ 第2回 10月23日(水) 療育支援体制(案)における各課の役割について (仮称)発達支援室の職員配置について 児童発達支援センターの相談機能について 「子どもを取り巻く問題解決に関する検討の場」の設置について ウ 「子どもを取り巻く問題解決に関する検討の場」の設置準備打合せ 第1回 12月24日(火) 児童発達支援センターと(仮称)発達支援室の役割の整理 第2回 1月30日(木) (仮称)発達支援室を中心とした療育支援体制に関する検討 (2) ささえる会 ア 第1回 6月12日(水) 放課後等デイサービスに係る報酬区分決定のための生活状況調査の様式について 幼児教育の無償化に伴う、児童発達支援事業の無償化について 平成30年度ささえる会における研修内容等の要望に関するアンケートの結果について イ 第2回 9月10日(火) 救急救命講習 ウ 第3回 11月13日(火) 市内事業所における取組報告(ポカラボット) エ 第4回 12月18日(水) 「見立てる力をつけよう」～行動の根本には何がある!? オ 第5回 1月23日(木) 「理解の数だけ笑顔が生まれる」 ～障がいの権利擁護と虐待防止について～ 3. 重点施策の進捗状況 ア 療育支援体制の整備 (仮称)発達支援室の機能・関係機関との連携の在り方について、つなぐ会にて検討。 今後は引き続き、子どもを取り巻く問題解決に関する検討の場にて検討を継続予定。 イ 各保育園への巡回相談(長久手市保育所等巡回相談支援事業) 長久手市障がい者基幹相談支援センター相談員が実施。 平成31年4月～令和2年3月の実績は0件。 4. 今後について ア 療育支援体制の整備 子どもを取り巻く問題解決に関する検討の場にて検討を継続予定。 イ 医療的ケアを要する重症心身障がい児のための支援体制の整備 自立支援協議会事務局会議に付随する作業部会にて取り組む予定。
3 令和2年度の取組	1. 長久手市における療育支援体制の整備 2. 医療的ケアを要する重症心身障がい児のための支援体制の整備

所属	社会福祉法人長久手市社会福祉協議会
部会長	鈴木 聖美

令和元年度専門部会等の取組報告及び令和2年度の取組

専門部会名		就労支援部会
1	担当する「ながふく障がい者プラン」の重点施策	⑧ 農業を活用した雇用機会の拡大（農福連携） ⑨ 就労支援コーディネーターの設置 ⑩ 市役所での就労体験の実施
	その他取組事業	1 物品販売会（物品販売会）の継続した開催 2 優先調達関連の推進
2	協議内容	1. 令和元年度就労支援部会開催報告 (1) 第1回就労支援部会 開催日：令和元年6月20日（木） (2) 第2回就労支援部会 開催日：令和元年10月24日（木） (3) 第3回就労支援部会 開催日：令和2年2月27日（木） 2. ながふく障がい者プラン進捗状況の報告について (1) 農業を活用した雇用機会の拡大（農福連携） 事業所への調査や部会での意見をもとに、市内・近隣の農家（JA・あぐりんへ依頼）へアンケート調査を実施。農地の貸出、人手がなくて困っていること、福祉サービス事業所へ仕事として依頼できること等を調査。調査結果は次回の部会で報告し、連携できる農家や依頼内容をリストアップし、市内福祉サービス事業所とのマッチングを目指していく。 (2) 就労支援コーディネーターの設置 平成30年7月より基幹相談支援センターに設置。就労支援コーディネート事業として基幹相談支援センター内にて役割の整理を行い、部会にて報告を行っている。進捗については、就労移行支援の（3年目）延長利用申請の評価・協議方法の検討、15歳（義務教育修了）からの生活状況の把握を目的に市内中学校特別支援学級や特別支援学校へ対象者への案内を依頼、尾張東部障がい者就業生活支援センターアウトとの連携、大学と連携（対象者への支援）することを目的とした近隣大学の実態把握、ひきこもり状態にある障がいのある方への介入や対策の検討を行っている。 (3) 市役所での就労体験の実施 新たに人事課及び長寿課並びに出先機関でもながふく就労体験を実施。 (4) 物品販売会（ながふく商店）の継続した開催 市役所、福祉の家、アピタ長久手店での販売会や地域の行事への参加を継続。 (5) 優先調達の推進 新たに作業部会を設置。案内を作成し一般企業への受注依頼・周知活動を実施予定。 3. 令和元年度物販作業部会について (1) 物販作業部会 ア. 実施回数：全7回（4/9、5/14、6/11、7/9、8/6、9/10、10/8）月1回の頻度で開催。 昨年度から他市町の取り組みを参考に共同受注窓口の設置に向けて検討を実施。市内事業所アンケート調査を実施し、現状を確認。調査結果から共同受注窓口の設置については本市の規模、事業所の状況を勘案して進めていく必要があるとことを確認。物販作業部会とは別に作業部会を設置し一般企業等へ働きかける取り組みから実施する（案）を部会へ提案。 イ. 販売会の実施：市役所販売会 第1・第3金曜日（午前11時から午後1時まで）、福祉の家販売会。毎月26日（午前11時から午後3時まで）、アピタ長久手店 毎月第1土曜日 午前10時から午後3時まで、その他イベント出店等 (2) 一般企業等への業務の受注提案を検討するための作業部会 ア. 実施回数：3回（予定）1/14、1/30、2/27（予定） イ. 概要：部会での承認を受けて、1月から開催。希望のあった市内事業所（3事業所）による受注・啓発チラシの作成・配布に向けた検討を実施中。年度内にデザイン・掲載内容の決定。また、配布先や配布方法が決定次第、周知活動を実施予定。
3	令和2年度の取組	・（農業を活用した雇用機会の拡大） ・農福連携の取り組みについてアンケート調査を基に、農家と市内事業所とのマッチングを目指す。 ・（就労支援コーディネーターの設置） ・就労支援コーディネート事業について、事業（対象者）の周知方法の検討や具体的な大学との連携方法等の検討を進める。また、ひきこもり状態にある方（障がいのある方）へ特化した支援体制の構築を目指す。 ・（市役所での就労体験の実施） ・障がい者の就労体験の実施状況を踏まえながら、就労体験の場の拡大を検討していく。 ・（物品販売会の継続した開催） ・販売会の実施について、来場者等の障がいへの理解や売上げの向上について今後も作業部会で検討していく。 ・（優先調達の推進） ・本市に合った共同受注窓口の取り組みとして、企業への受注依頼・周知活動を実施しその効果について検証する。
所属	株式会社フォルツァ あるく長久手グリーンロード	
部会長	後藤 俊輔	

令和元年度専門部会等の取組報告及び令和2年度の取組

専門部会名		福祉サービス支援部会
1	担当する「ながふく障がい者プラン」の重点施策	① グループホーム整備への支援
		② グループホームの体験利用の促進
		⑬ 移動支援の支援員の人材育成
2	協議内容	<p>1 令和元年度福祉サービス支援部会の開催について</p> <p>(1) 第1回・令和元年5月24日 グループホーム開設や運営に必要な支援について、実施事業所の意見を聞き協議。地域課題への取り組みとして「権利擁護」「支援の悩み(アシスト)」を研修のテーマとすることに決定。地域生活体験訓練事業について実施状況と課題を報告。</p> <p>(2) 第2回・令和元年10月25日 地域生活体験訓練事業について、啓発チラシの内容等を検討。グループホーム整備に向けた支援策を協議し、4つの支援策にまとめる。研修について講師や実施内容案を報告、決定。 (「権利擁護」「支援の悩み(アシスト)」を自立支援協議会全体研修、「愛知県精神医療センター見学会」を部会限定の研修と決定されたことを報告)</p> <p>(3) 第3回・令和2年2月28日 今年度評価と来年度計画について協議。 全体研修の報告及び1月18日・2月19日実施の「愛知県精神医療センター見学会」を報告。 ※作業部会は、必要に応じて開催する仕組みであるため、今年度は実施せず。</p> <p>2 重点施策の進捗状況について</p> <p>(1) グループホーム整備への支援 グループホーム開設・運営に必要な支援について、5月24日に市内グループホーム事業所と協議。ニーズ調査・アンケート調査の結果と照らし合わせ、必要な支援策をまとめる。支援策の一つである不動産に関する支援として商工会を1月17日に訪問し、協力依頼を実施。</p> <p>(2) グループホーム体験利用の促進 4月より事業を開始。事業の振り返りを3回実施。体験者が目標をより意識できるよう中間報告様式を整備し、実施方法の改善を図る。</p> <p>(3) 移動支援の支援員の人材育成 移動支援従事者養成研修(基礎研修)が、市内事業所(社会福祉法人むそう)により、3月開催。移動支援の人材育成のため、研修の継続ができています。</p>
3	令和2年度の取組	<p>(1) グループホーム整備については、今年度まとめた支援策(介護事業所への参入勧奨・不動産業者への協力呼びかけ・助成金要望・本人や家族への啓発活動)を、次年度も引き続き取り組む予定。</p> <p>(2) グループホーム体験利用の促進については、実施状況に合わせた改善への取り組みを引き続き実施する(広域化については、圏域での検討が進んでいるため部会では取り扱わず。)</p> <p>(3) 移動支援従事者の人材育成については、今年度は基礎研修のみ実施したため、次年度は応用研修も合わせて実施できるよう関係機関と調整していくことが必要。</p> <p>(4) 研修については、研修専用の作業部会が設置される予定があるため、その動向に合わせ検討していく。</p>

所属	特定非営利活動法人百千鳥
部会長	竹田 晴幸

令和元年度専門部会等の取組報告及び令和2年度の取組

専門部会名	精神障がい者支援部会
1 「ながふく障がい者プラン」の重点施策	15 精神障がいに対応した地域包括ケアシステムの構築
2 協議内容	<p>①令和元年6月19日第1回部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会長の選任。 ・H31年3月1日開催「ピア活あいちin長久手」の実施報告。 ・H28年～30年度長久手市個別訪問調査の結果報告。 ・個別訪問調査報告、各事業所の実践から見える課題等について意見交換。 ・今後の部会員構成について意見交換。 <p>②令和元年10月18日第2回部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先的に取り組む推進事業を2項目（アウトリーチ支援に係る事業、家族支援に係る事業）選定。 ・選定した推進事業2項目で必要となる資源や仕組み等についてグループワークを実施。 <p>③R2年2月21日第3回部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年3月14日開催予定の「ピア活あいちin長久手Part2」について進捗を報告。 ・R2年度地域福祉活動計画の事業（ひきこもり状態にある人・あった人の実際や変化の報告会、ひきこもり状態にあった人の経験を聞く講演会、ひきこもりの方との関わり方を学ぶ勉強会、社会的孤立状態にある人が社会と関わりを持つ仕組みを作る）の実施について、事務局から部会で取り組むことの提案があり、承認される。 ・ながふく障がい者プラン重点施策の評価について、3回開催された部会の中で、課題の整理と共有をし、今後優先的に取り組む事業が2項目選定され、課題解決に向けた協議を進める準備が整った。目標どおりに進捗していると評価。 ・令和2年度事業計画について、年に3～4回部会を開催。地域福祉活動計画の事業について検討する。また、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域課題の解決についての検討も継続して行う。 <p>※R2年3月14日開催予定だった「ピア活あいちin長久手Part2」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度の実施は中止とした。来年度実施予定。</p> <p>※新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から、R2年度の事業計画を予定通り実施していくことは困難と判断し、R2年5月13日に事業計画の変更が提案され、承認された。</p>
3 令和2年度の取組	<p>①各部会委員が関わりのある人、機関（事業所利用者、家族会、医療機関等）に、現在の生活状況について確認する。</p> <p>②精神障害者保健福祉手帳所持者から、情報を収集する。</p> <p>③部会委員で情報の整理と共有を行う。</p> <p>④部会委員でネットワーキング構築のための仕組みと体制等を検討する。</p> <p>⑤検討結果を自立支援協議会本会議へ報告する。</p> <p>⑥「ピア活あいちin長久手Part2」の開催し、当事者同士のつながりを強化する。</p>
所属	愛知県立大学 教育福祉学部社会福祉学科
部会長	宇都宮みのり

令和元年度専門部会等の取組報告及び令和2年度の取組

専門部会名	計画策定・評価部会
1 担当する「ながふく障がい者プラン」の重点施策	—
2 協議内容	<p>1. 令和元年度計画評価部会開催報告 第1回計画評価部会 開催日：令和元年7月2日（火）</p> <p>2. 令和元年度計画策定部会開催報告 （1）第1回障がい者基本計画等策定部会 開催日：令和元年12月10日（火） （2）第2回障がい者基本計画等策定部会 開催日：令和2年2月19日（水）</p> <p>3. 進捗状況の報告について （1）第4次長久手市障がい者基本計画の策定に関するアンケートの実施 ア 市民向けのアンケート（令和2年1月31日（金）発送） 対象者：1,802人 ※対象者重複有 ・ 障害者手帳所持者 1,639人（身体1,078人、療育239人、精神387人） ・ 障害福祉サービス利用者 256人 ・ 障害児通所支援利用者 239人 ・ 地域生活支援事業利用者 173人 イ 事業所向けアンケート（令和2年3月17日（火）発送） 対象事業所：34事業所 ウ 相談支援専門員向けアンケート（令和2年3月17日（火）発送） 対象相談支援専門員：11名 エ 農福連携に関するアンケート（令和2年1月28日（水）発送） 対象者：市内JA・あぐりん村に農作物を納品している農従事者504人</p> <p>（2）関係団体等意見聴取の実施 本市に関係している団体・家族等18団体に対して意見聴取の実施 なお、代表者等のみに聞くのではなく、会員全体に対して聴取するものとした。</p> <p>（3）その他課題把握 ア 現計画評価からの課題把握 イ 相談支援連絡会からの課題把握 ウ 個別訪問調査からの課題把握</p>
3 令和2年度の取組	<p>①現計画の評価及び課題の把握 ②意見聴取からの課題把握 ③優先的に取り組む必要があるものの検討・決定（次期計画の重点施策） ④重点施策の各年度ごとの目標設定 ⑤次期計画の重点施策以外の施策の検討・決定 ⑥次期計画の骨子の検討・決定 ⑦素案の決定 ⑧パブリックコメントの実施 ⑨次期計画の策定</p>

所属	愛知県立大学 教育福祉学部社会福祉学科
部会長	吉川 雅博

令和元年度専門部会等の取組報告及び令和2年度の取組

専門部会名		事務局会議
1	担当する「ながふく障がい者プラン」の重点施策	③ 基幹相談支援センターの設置 ④ 個別訪問調査の実施
	その他の取組事業	1 地域生活支援拠点の整備
2	協議内容	<p>1 協議内容の報告</p> <p><第1回>令和元年5月15日(水) 10:00~12:00</p> <p>(1) 障害を理由とする差別事案の確認 (2) 各部会の進捗状況等について (3) 個別訪問調査について (4) 基幹運営会議で抽出された地域課題について (5) ながふく障がい者プラン評価について</p> <p><第2回>令和元年7月17日(水) 10:00~12:00</p> <p>(1) 障害を理由とする差別事案の確認 (2) 各部会の進捗状況等について (3) 個別訪問調査について (4) 基幹運営会議で抽出された地域課題について</p> <p><第3回>令和元年9月18日(水) 10:00~12:00</p> <p>(1) 障害を理由とする差別事案の確認 (2) 各部会の進捗状況等 (3) 個別訪問調査について (4) 基幹運営会議で抽出された地域課題について (5) 自立支援協議会の見直しについて (6) 地域福祉講演会について</p> <p><第4回>令和元年11月13日(水) 10:00~12:00</p> <p>(1) 障害を理由とする差別事案の確認 (2) 各部会の進捗状況等について (3) 個別訪問調査について (4) 基幹運営会議で抽出された地域課題について (5) 自立支援協議会の見直しについて</p> <p><第5回>令和2年1月15日(水) 10:00~12:00</p> <p>(1) 障害を理由とする差別事案の確認 (2) 各部会の進捗状況等について (3) 個別訪問調査について (4) 基幹運営会議で抽出された地域課題について (5) 自立支援協議会の見直しについて</p> <p>2 差別解消に関する事例の報告 0件</p>
3	令和2年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活支援拠点の整備について、本市における社会資源の整備状況等を踏まえ、本市に合った方法を引き続き検討する。 ・ 避難行動要支援者への支援体制について引き続き検討をする。 ・ 自立支援協議会の再編について検討をする。 ・ 各部会の進捗状況を確認し、スムーズな部会運営がされるよう調整する。 ・ 基幹運営会議で抽出された地域課題等を各専門部会に割り振り、解決に向け取り組む。 ・ 個別訪問調査を実施する。